



## 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、  
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての  
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

## めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し  
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

## 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

地球の病気

藤田 圭雄

あんよで地面をたたきましょ  
地球が病気だく るしそう  
トントントン トンストトン

まいにち すこうし あつすぎる  
おねつがあるのじゃないかしら  
トントントン トンストトン

雨の日まいにちつづきます  
おながわるいのかもしれぬ  
トントントン トンストトン

きのうもゆらゆら地震です  
むしでもいるのか 盲腸か  
トントントン トンストトン

どこかで もくもく きのご雲  
心臓破裂か 癌でしょか  
トントントン トンストトン

あんよで地球をたたきましょ  
ぼくらは子どものお医者さん  
トントントン トンストトン

出勤途中、四季を感じさせる木々や花があり、開花した花が心に潤いをもたらしてくれます。今はフクジュソウと梅の花が、春の訪れを感じさせてくれます。1月下旬だというのに、例年になく暖かい日がありました。オーストラリアでの大火は数か月燃え続けています。その影響もあるとの報道を聞き、子どもたちの未来を考えると、環境がどう変化していくのか温暖化の影響は非常に心配です。

国連温暖化サミットで世界の指導者を前に「黙って見過ごすあなた達を絶対許せない」と怒りのスピーチをし世界的に伝えられたグレタ・トゥーンベリさん。勇気ある行動と問題意識の高さに感激しました。大人の役割や責任を考えさせられました。

2月には各クラス懇談会があり、日頃の保育園生活と家庭での姿を情報交換する機会になっています。仕事しながらの子育ては大変な時もあることでしょう。私たちは子どもの成長と保護者のサポートをしながら保育にあっています。ぜひ懇談会へも都合をつけて参加していただきたいと思います。

## 2月の予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 節分※	4	5	6	7 0才児懇談会	8	9
10	11	12	13 健康診断 2才児懇談会	14 1才児懇談会	15	16
17	18 わらべうた	19	20 身体測定	21 3, 4才児懇談会	22	23
24	25 歯磨き指導※ 体験保育※	26	27 健康診断	28 幼児誕生会 5才児懇談会	29	

※ 3日（月） 節分・幼児を中心に豆まきをします  
(乳児もカメラマンの撮影があります)

※ 5・6日（水・木） 新入園児の面接

※ 13日（木） 在園児・新入園児健康診断

※ 25日（火） 幼児・保健所の歯科医の方の歯磨き指導  
があります。  
体験保育 「わらべうたであそぼう」

※クラス懇談会の時間と場所は各クラスからのお知らせを確認  
してください。



### お知らせ

☆実習生が2人入ります。

○2月10日（月）～25日（火） 目白大学

○2月12日（水）～28日（金） 日本女子体育大学

☆2月5日（水）10:00から門扉の暗証番号を変更します。

番号は各クラスの保育士から直接お聞きください。

☆219号線（道路）の建設計画見直しを求める要望書の署名  
のご協力をよろしくお願ひします。



## 一時保育の様子



一時保育(ふくろう組)はご家庭のそれぞれの理由に合わせて利用されており、登園回数も曜日も家庭によって様々。日毎に構成メンバーも年齢も違います。毎月のように新しく利用する子がいるので、その度に新学期のようです。子どもにとっては家庭生活から、突然保育園に来ることになるので、入室時から泣き始める子や、保護者の方が行く時になって「お母さんいなくなるの??」と大慌てで泣く子がいます。一方、楽しそうな玩具がある!と保護者の姿も気にせず遊び始める子、はたまた全く気にせず遊んでいたと思っていたら、急に置かれている状況に気付いて泣き始める子 etc...とそれぞれ不安な気持ちを出しつつスタートしています。

クラスでは、子どもも保護者の方も安心して利用できるよう、その日の子どもの好みに合わせて室内環境を設定したり活動内容を考えていますが、子どもたちの不安を解消する上で大きな存在となるのが、園生活に慣れた先輩達。「自分は泣いていなかった!」と言いつつも、泣いている子の気持ちが分かるのか、「ママ来るよ」と慰めたり玩具を渡してくれる優しく頼もしい姿が見られます!そういう経験を経て、小さいながらも思いやりの気持ちが育っているのを感じます。

長く通うようになると、顔見知りの子、気の合うお友達ができ、遊ぶのを楽しみにする姿が出てきます。異年齢の子たちが集まっているので、年上の子は自然に小さい子をかわいがる姿が見られるのも微笑ましいです。年齢構成が変わるので、それまで大人に頼っていた子も、小さい子が入ってくるとしっかり者になっていく姿もあります。

クラスよりもメンバー変化の大きいクラスですが、そんな中でも、他の子の姿から刺激を受けつつ変化していく様子、楽しい事や嫌な事も含めた関わりを通して友達との関係を学んでいく様子を見ることができ、子どもの吸収力、成長する力に驚くばかりです。一番楽しんでいる(学んでいる!)のは保育士かもしれませんが、一時とはいえ、集団の中でしか経験できない子どもの持っている力を伸ばしていきたいと思いながら毎日子どもを迎えています。

一時保育担当保育士



## ある日のエピソードより・・・

昨年度より少しずつ保育にも関わりが出てきて、今年度は2年目になります。0歳児クラスを中心に子どもとかかわっているのですが、去年の夏ごろより2歳児クラスの朝の時間にも加わっています。

拙いながらも歌えるようになってきたわらべうたですが、0歳児と同じ感覚で歌い始めても、子どもはあまり興味を持って聞くこともなく、2年の年齢差に大きな隔たりを感じ、どうしたものかと思っていました。ただ、2歳ともなると、子どもははっきりとした言葉で自己主張もできるし、手先の動きややりたいこともはっきりとしているので、いつも自分がしてきた全体を見守る保育というよりも、より遊びらしい保育になり、それはそれで楽しく関わることもできそうだなと思いました。

0歳ではできるだっこも、重くてできない。しかし、その代わりに子どもが自然に私の膝に乗ってお話してきたり、「今日の髪形は凝っているね。よく似合っているよ」「そうでしょ、かわいいでしょ」といった学生のような会話ができたりと、0歳とはまた別の関わり方ができ、日常会話のやりとりを楽しんでいます。

普段の保育時間でも、廊下で会うと「よしこさーん、今からお外出るよー」と、幼児に向かっていく子どもたちとの関係性が少しずつ構築され、うれしく思っています。

子どもたちの成長をしっかり学ぼう、遊びという世界を広げていこうと躍起になっているよりも、自然体の自分で、普段の姿勢で毎日の保育を楽しんでいこうと思いました。

保育士